

第62期第2四半期（累計期間） 決算説明会 (2014/4/1～2014/9/30)



2015年3月期第2四半期累計期間実績 および2015年3月期通期見通しについて

代表取締役社長 鷹野 準

(ご注意)

※本資料中の四半期数値は特に断りがない限り、第2四半期累計期間を表示しております。

**2015年3月期第2四半期連結累計
期間決算実績の内容について**

●セグメント区分の変更について

当社では、2014年3月期通期から、組織異動にともなう管理体制の変更により、前年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット（ばね）製品の製造販売「産業機器」に統合させる区分の変更を行っております。また、2015年3月期第1四半期から「その他」の区分を「機械・工具」に名称変更をしております。

なお、本資料中に表示されているセグメント関係情報は、特別の断りがない場合、2010年9月中間期（2011年3月期）および2011年9月中間期（2012年3月期）は従前の区分によっており、2012年9月中間期（2013年3月期）からは新たなセグメント区分に組替を行い表示しております。よって、セグメントの時系列情報の利用につきましてはご注意ください。

●2015年3月第2四半期決算実績 (対前期比)

	2015年3月2Q (百万円)	2014年3月2Q (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	8,550	6,219	137.5%
営業損益	9	△368	—%
経常損益	100	△304	—%
四半期純損益	53	△437	—%

●2015年3月第2四半期決算実績 (対計画比)

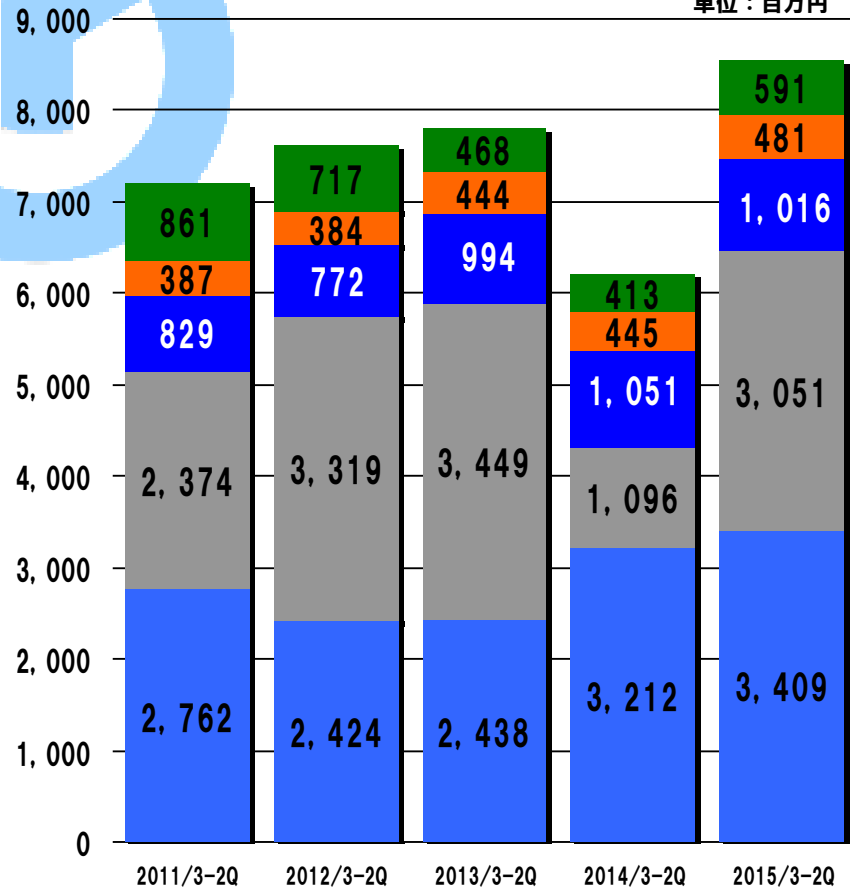
	2015年3月2Q (百万円)	2015年3月2Q 計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	8,550	8,150	104.9%
営業損益	9	0	-%
経常損益	100	40	252.5%
四半期純損益	53	10	536.2%

※計画値は、2014年5月9日の決算発表時に開示しました業績予想値を表示しております。

●連結セグメント別売上高の推移

セグメント別売上高推移

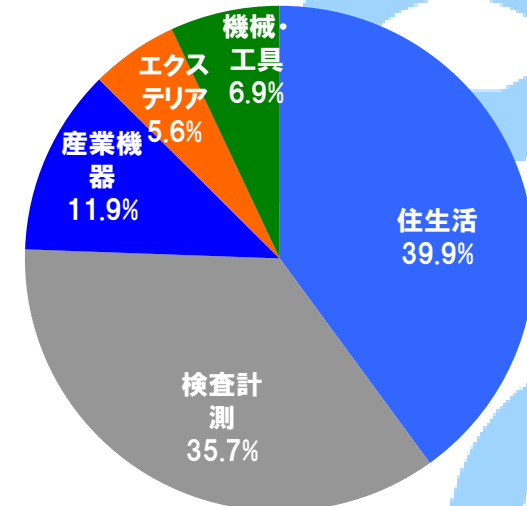
単位：百万円



■ 住生活関連機器 ■ 検査計測機器 ■ 産業機器 ■ エクステリア ■ 機械・工具

	2015/3-2Q (百万円)	2014/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	3,409	3,212	106.1%
検査計測	3,051	1,096	278.4%
産業機器	1,016	1,051	96.7%
エクステリア	481	445	108.0%
機械・工具	591	413	142.9%
合計	8,550	6,219	137.5%

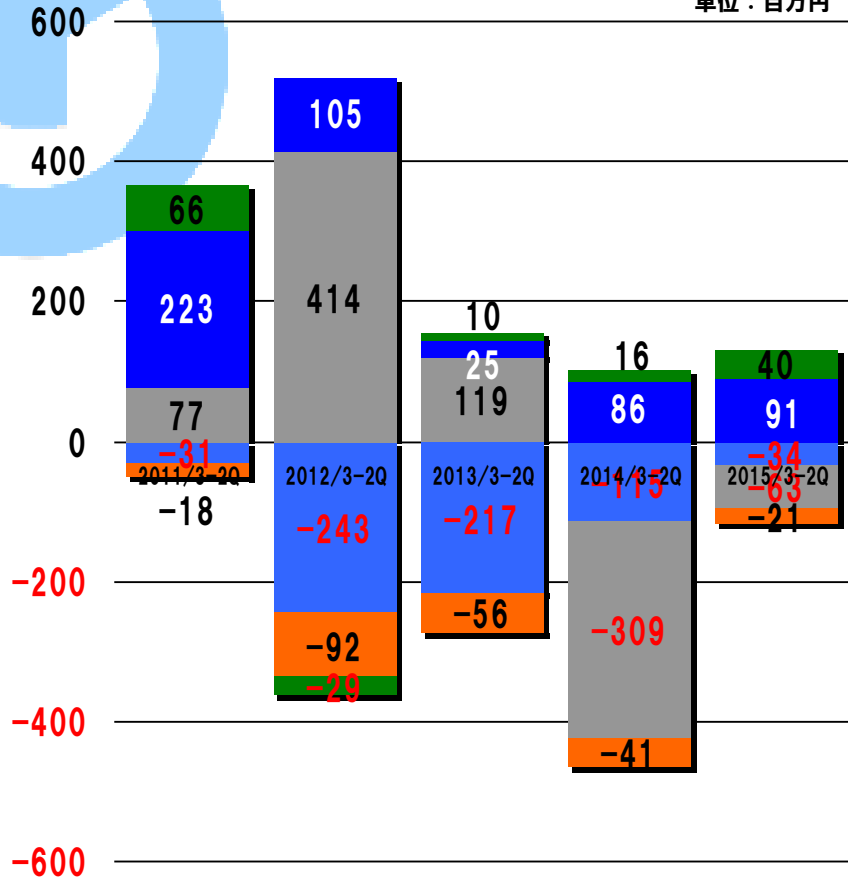
2015/3 第2四半期（累計）売上高構成比



●連結セグメント別利益の推移

セグメント別利益推移

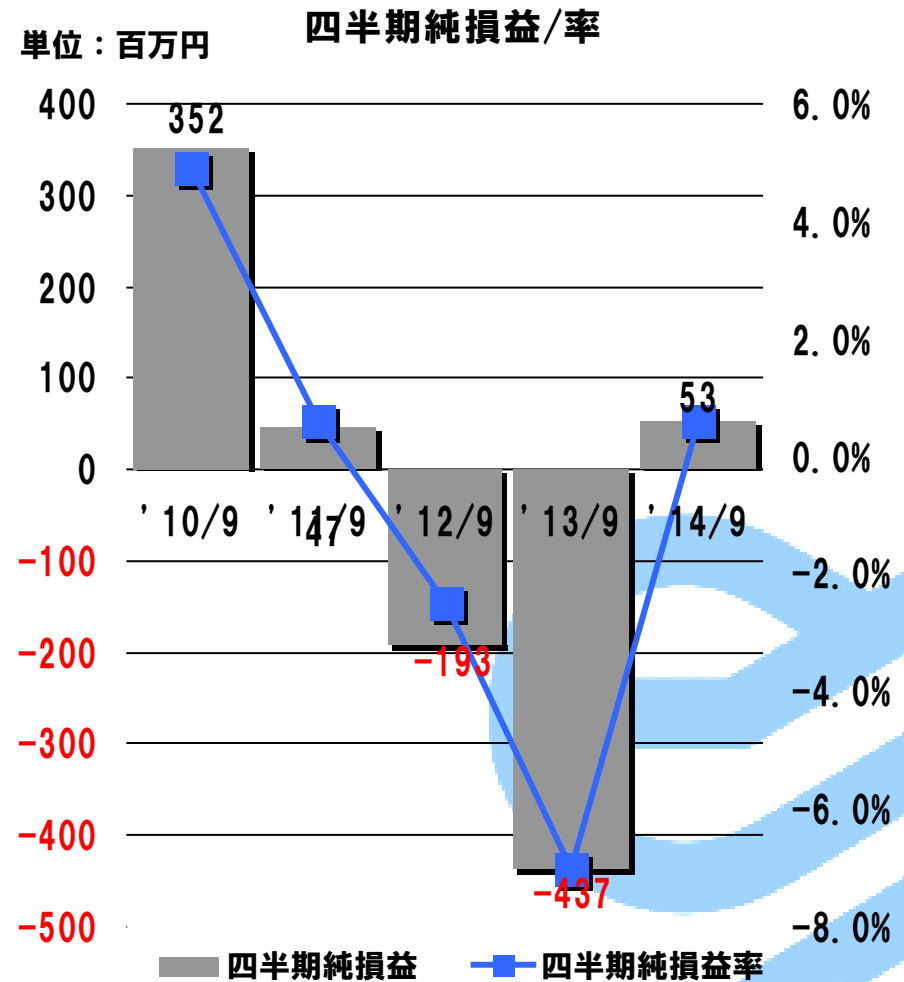
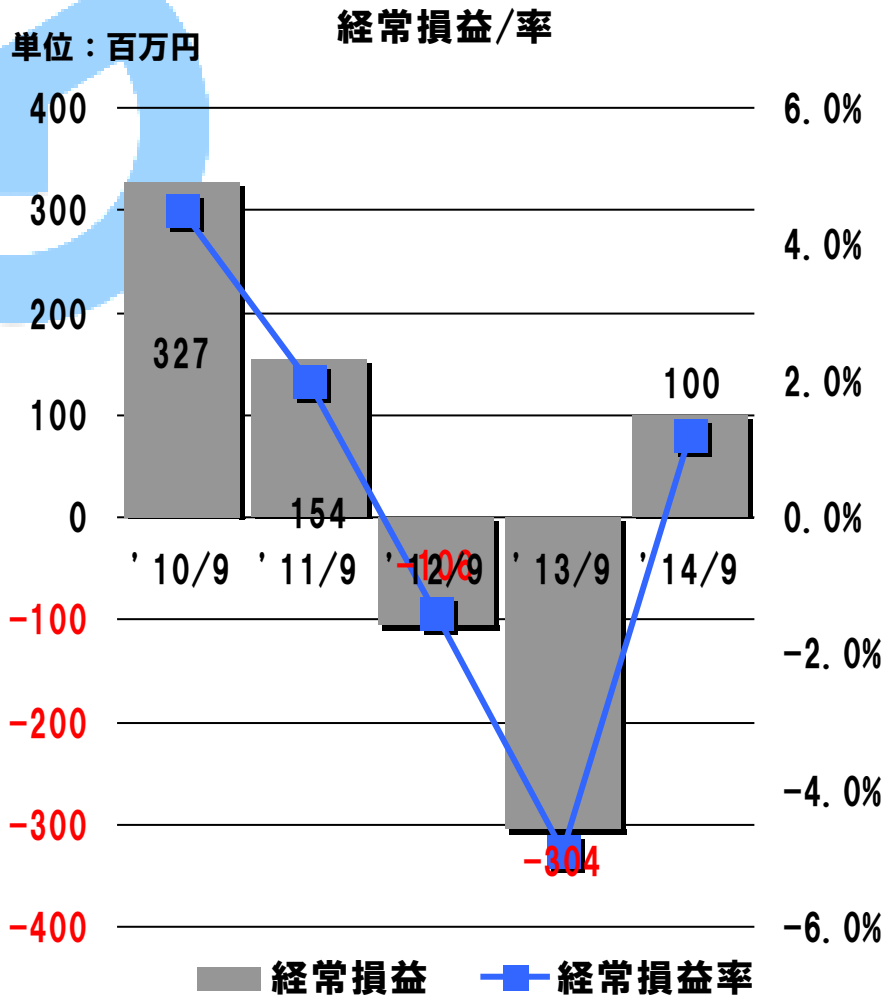
単位：百万円



■ 住生活関連機器 ■ 検査計測機器 ■ 産業機器 ■ エクステリア ■ 機械・工具

	2015/3-2Q (百万円)	2014/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	△34	△115	—
検査計測	△63	△309	—
産業機器	91	86	105.8%
エクステリア	△21	△41	—
機械・工具	40	16	244.1%
取引消去	△2	△5	—
合計(営業損益)	9	△368	—

● 経常損益・四半期純損益の推移 (第2四半期累計)

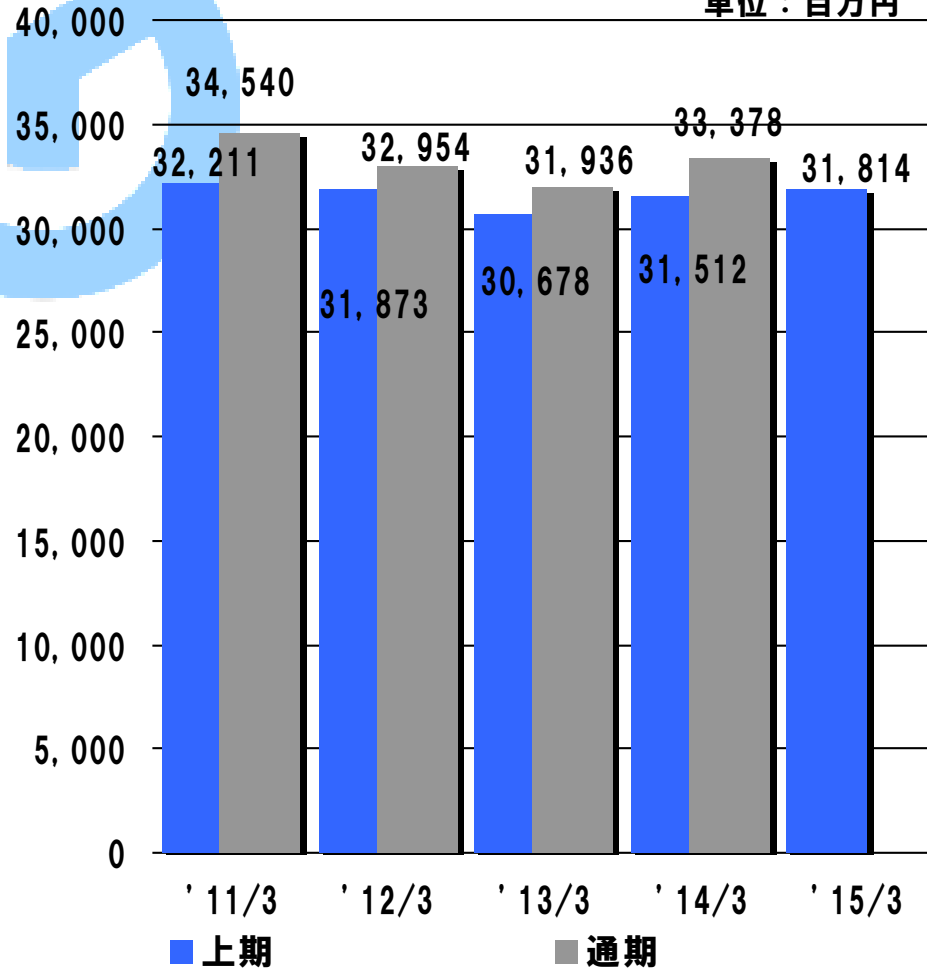


○ 2014年3月期第2四半期の1株当たり
四半期純利益 3円53銭

●総資産・株主資本推移(第2四半期末)

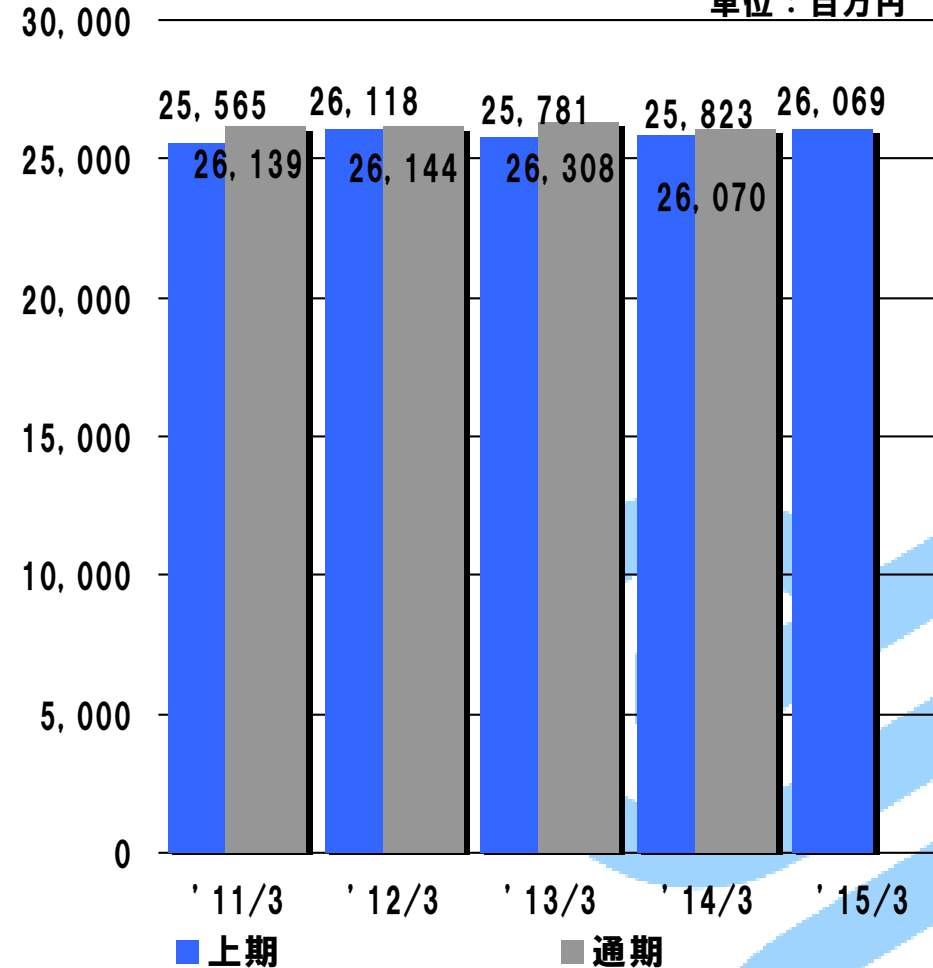
総資産

単位：百万円



純資産

単位：百万円



○2014年9月末の自己資本比率 81.9%

○1株当たり純資産 1,715.51円

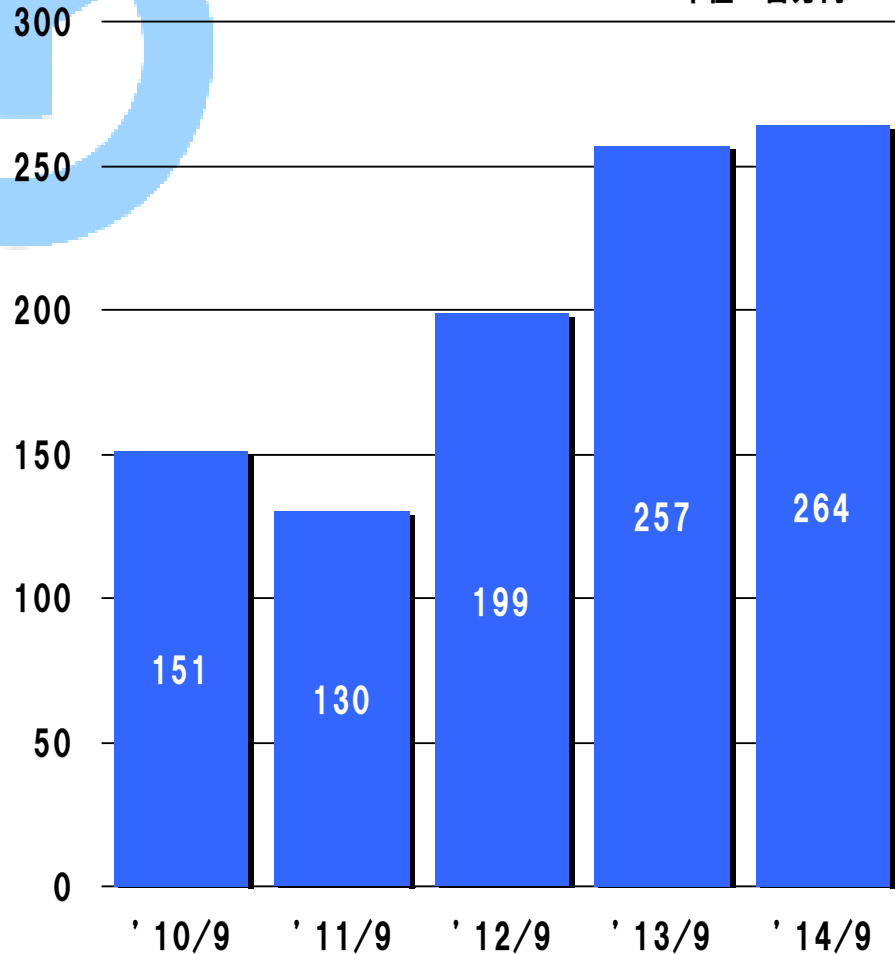
●2015年3月第2四半期キャッシュフロー計算書

	2015年3月2Q (百万円)	2014年3月2Q (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	945	35	909	
投資活動によるCF	△102	△1,096	993	
財務活動によるCF	△199	△194	△4	
現金等換算差額	21	26	△5	
現金等の増減額	664	△1,228	1,893	
現金等期首残高	8,972	11,665	△2,693	
現金等期末残高	9,637	10,437	△800	

●研究開発の状況

研究開発費推移

単位：百万円



●当第2四半期の主な研究開発の内容

■住生活関連機器

- ・ 新型診察・処置台開発
- ・ 手術室関連体位保持機器開発
- ・ 新コンセプト椅子研究

■検査計測機器

- ・ 新検査アルゴリズム開発
- ・ 超高速CMOSラインセンサ開発
- ・ 高速画像処理エンジン開発
- ・ 多接合PVセル検査装置開発

■産業機器

- ・ 超小型ソレノイド開発
- ・ 医療関連機器向けソレノイド開発

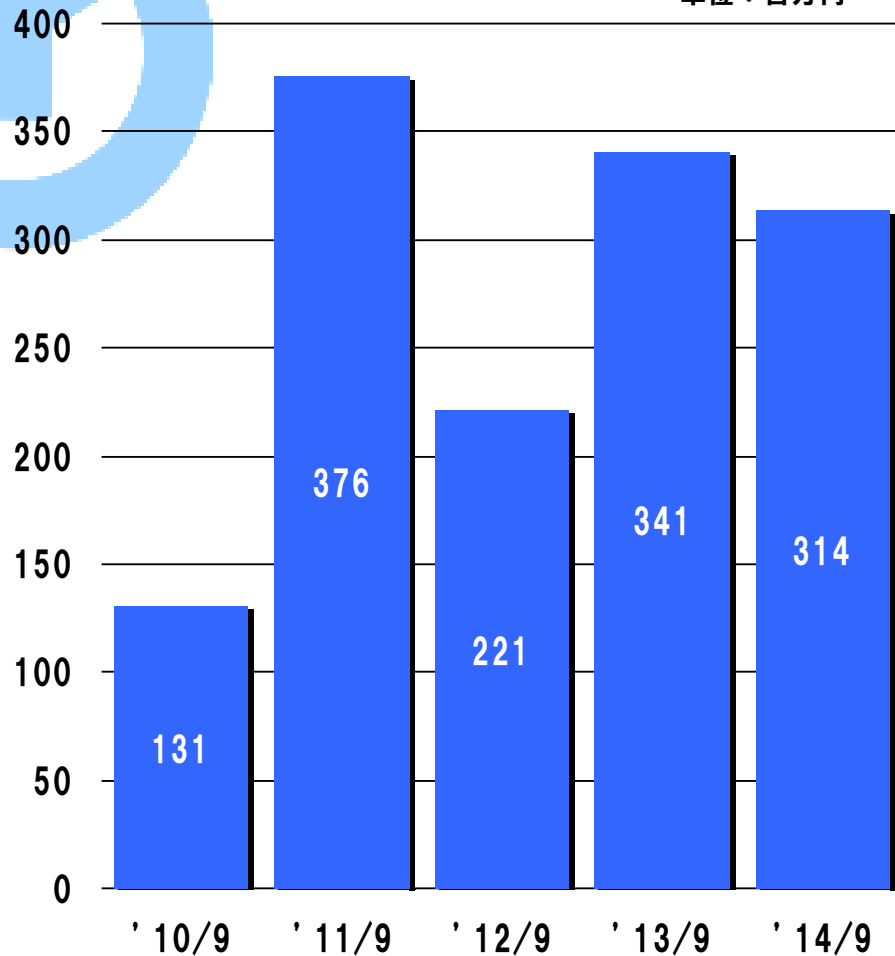
■新事業開発関係（基礎研究）

- ・ 体外診断システム装置開発
- ・ 圧力測定システム開発

●設備投資の状況

設備投資額推移

単位：百万円



●当第2四半期の主な設備投資の内容

■住生活関連機器

- ・生産合理化設備(検査装置・ロボット)
- ・生産管理システム更新
- ・開発棟建物建設関係工事

■検査計測機器

- ・評価デモ環境整備
- ・開発環境整備

■産業機器

- ・新製品金型
- ・生産合理化設備(検査装置・ロボット)

■その他

- ・東京営業所空調設備更新

・・・他

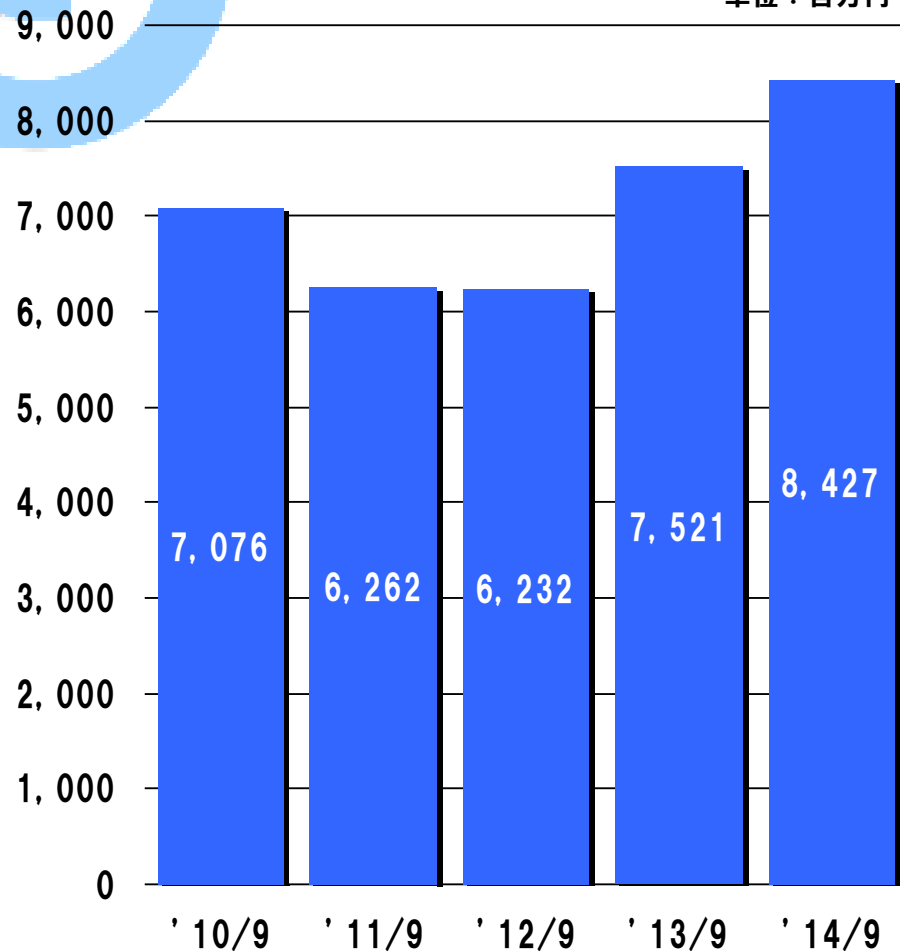
●受注・受注残高の状況

■検査計測機器の受注残高の状況

2014年9月末 4,497百万円

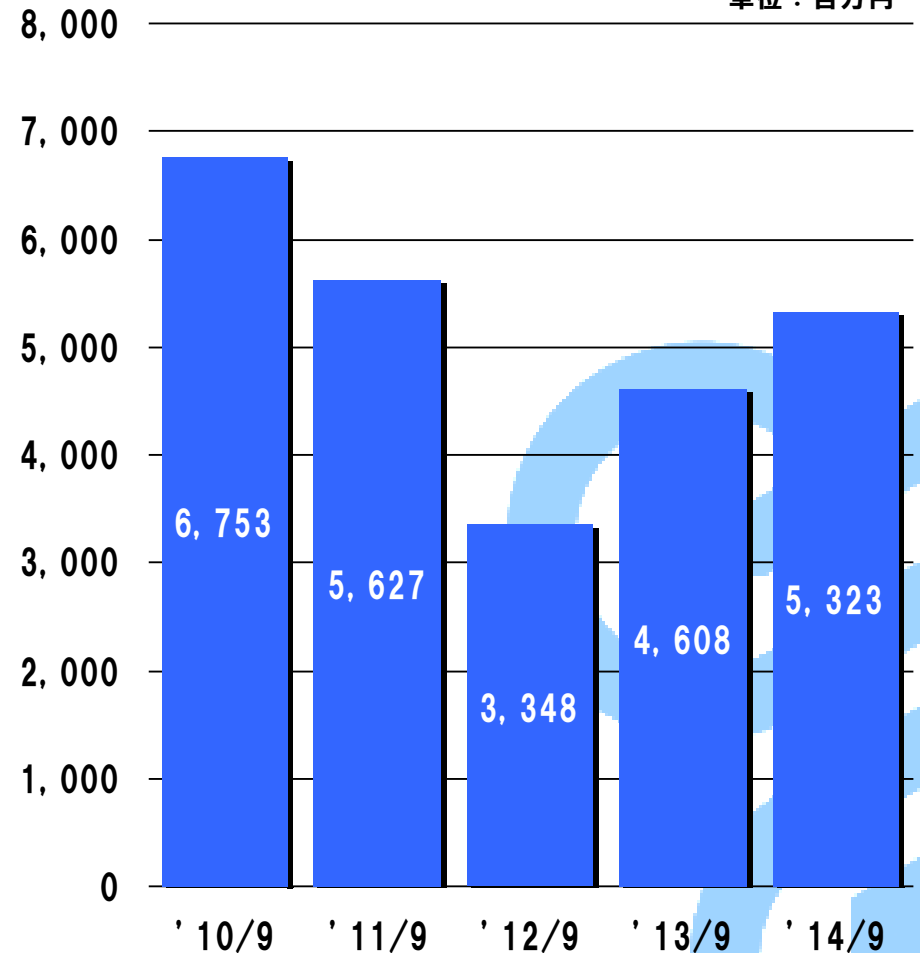
第2四半期(累計)受注高推移

単位：百万円



第2四半期末受注残高推移

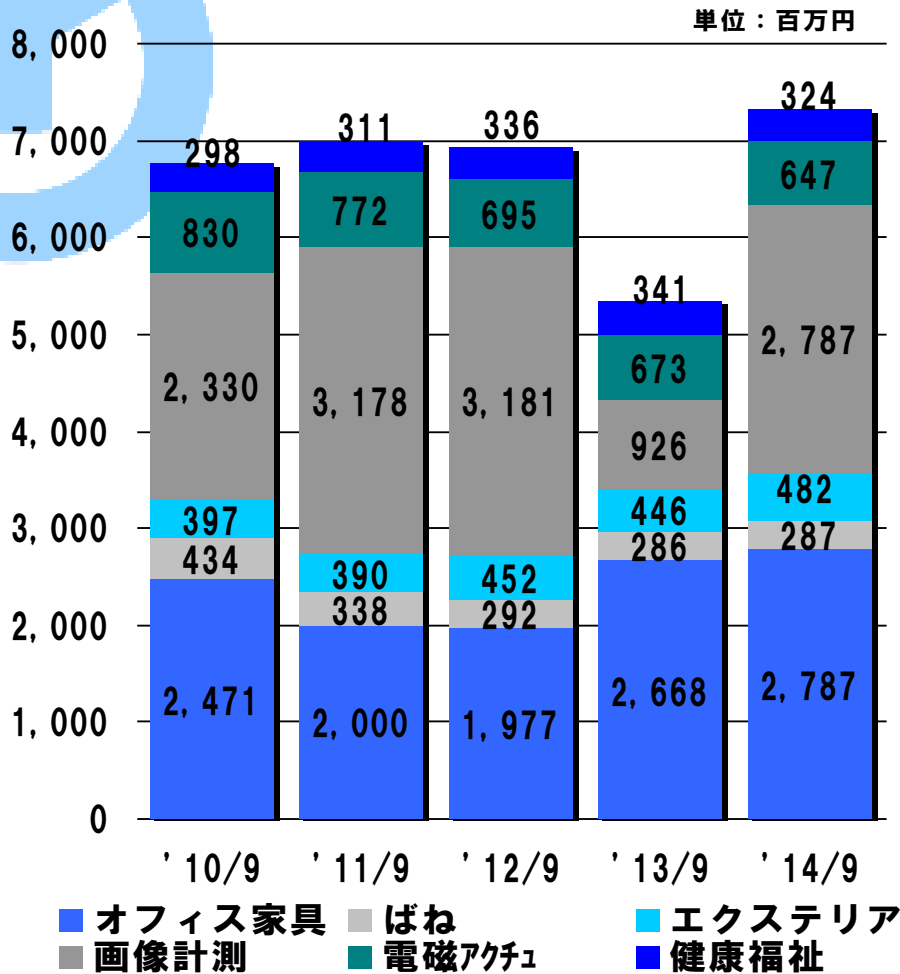
単位：百万円



**2015年3月期第2四半期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

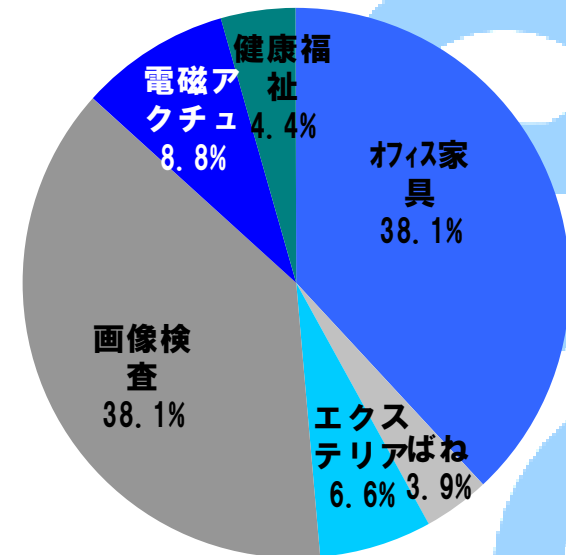
●事業別第2四半期売上高（単独）の推移

事業別売上高推移

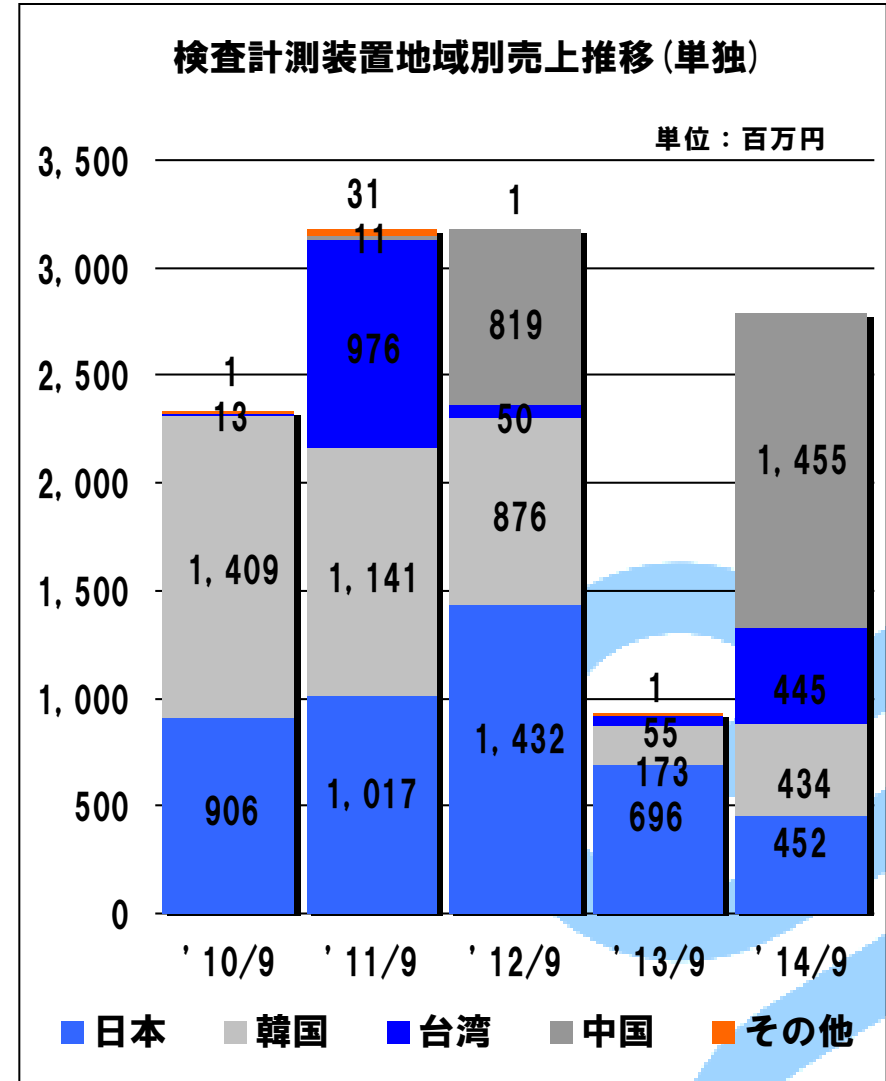
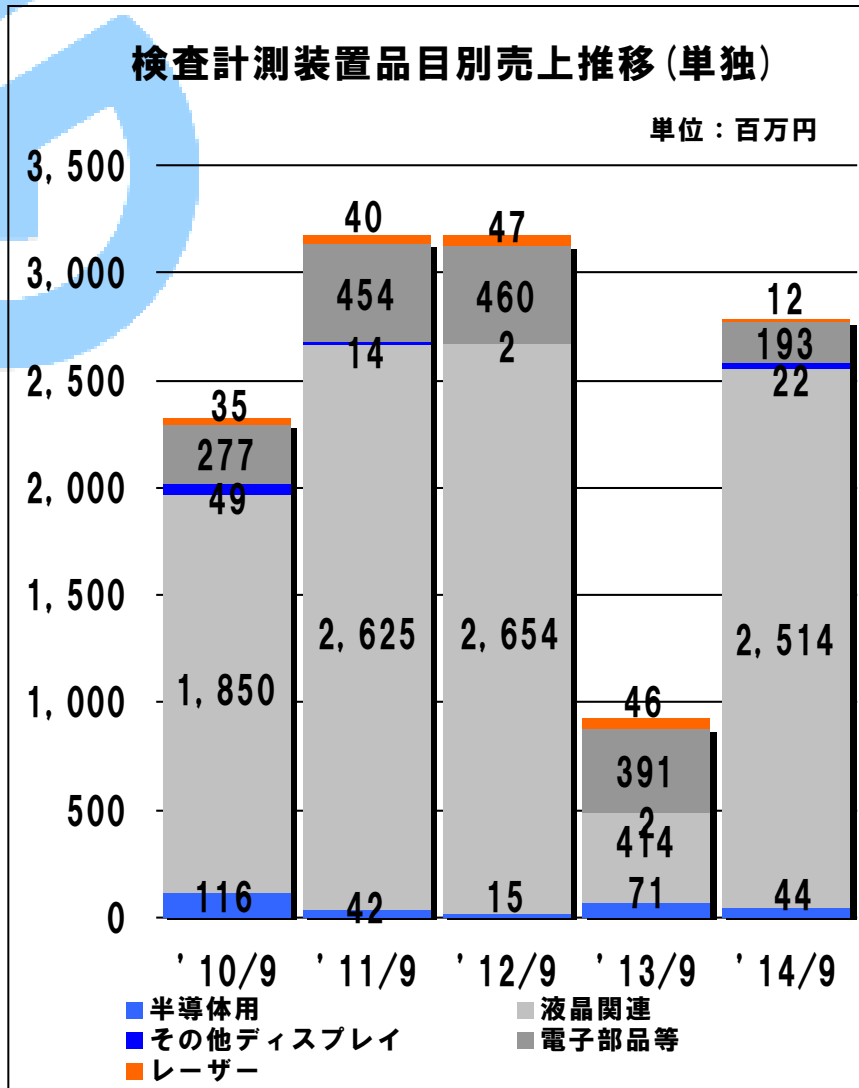


	2015/3-2Q (百万円)	2014/3-2Q (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	2,787	2,668	104.5%
ばね	287	286	100.1%
エクステリア	482	446	108.2%
画像検査	2,787	926	301.0%
電磁アクチュ	647	673	96.1%
健康福祉	324	341	95.0%

2015/3 第2四半期売上高構成比



●検査計測装置（単独）第2四半期売上高の推移



2015年3月期決算（連結）の見通しについて

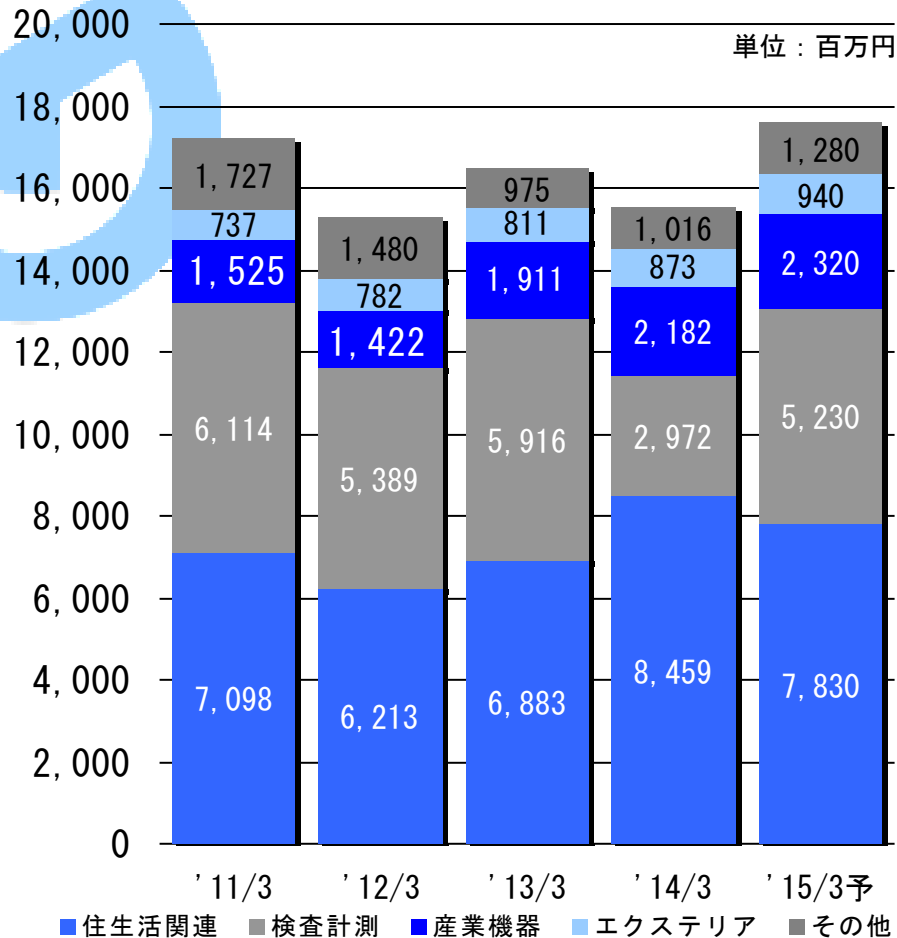
●2015年3月期決算（連結）見通し

	2015年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2014年3月実績 (百万円)
売上高	17,600	113.5	15,503
営業損益	400	—	△219
経常損益	470	—	△99
当期純損益	400	—	△218

※予想値は、2014年5月9日の決算発表時に開示しました業績予想値を表示しております。

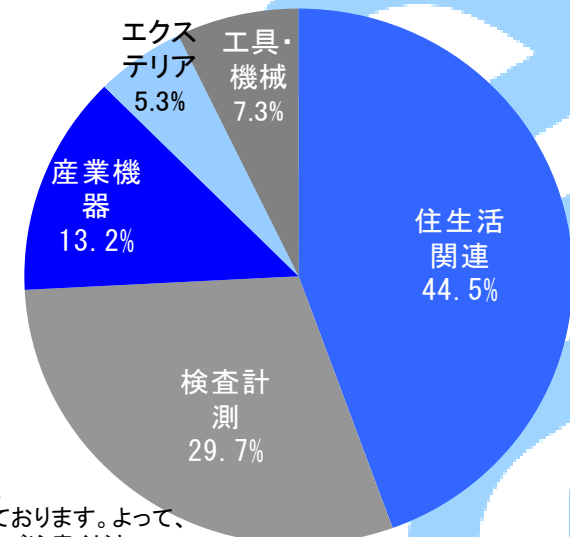
● (ご参考) 連結セグメント別売上高の見通し

セグメント別売上高推移+予想



	2015/3予 (百万円)	2014/3 (百万円)	前年 同期比
住生活関連	7,830	8,459	92.6%
検査計測	5,230	2,972	175.9%
産業機器	2,320	2,182	106.3%
エクステリア	940	873	107.6%
工具・機械	1,280	1,016	126.0%
合計	17,600	15,503	113.5%

2015/3連結売上高構成比見通し



※上記参考予想値は、2014年5月28日の決算説明会でご説明した値であります。

※2014年3月期から組織移動に伴う管理体制の変更により前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれていたユニット(ばね)製品の製造販売を「産業機器」に統合させ、「その他」を「機械工具」とする区分の変更を行っております。これにより、比較可能とさせるため、2013年3月期のセグメント情報につきましては、会社組織変更後の区分に組み替えを行い、表示しております。よって、2011年3月期から2012年3月期までと、2013年3月期から2015年3月期予想まででは表示上の不連続が生じておりますので、ご注意ください。

※この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものであります。将来に関する予想には様々な潜在的风险や不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。

従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えください。